
朝霞和光資源循環組合
ごみ広域処理施設整備・運営事業
入札説明書等に関する質問回答（第2回）

令和6年7月26日

朝霞和光資源循環組合

1 入札説明書に関する質問への回答

質問はありませんでした。

2 要求水準書に関する質問への回答

No	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問内容	回答																						
1	9	第1編 第3章	5	3.5.2	用水	<p>上水の水質データについては、和光市水道局のデータを元に計画しておりますが、プラント設備の設計に必要な水質項目が不明のため、以下の水質項目についてご教示願います。ない場合は、上水の水質分析をさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">プラント設備計画のために必要な水質項目（18項目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気伝導度</td> <td>炭酸イオン</td> </tr> <tr> <td>過マンガン酸カリウム消費量</td> <td>炭酸水素イオン</td> </tr> <tr> <td>カリウムイオン</td> <td>遊離炭酸</td> </tr> <tr> <td>カルシウム硬度</td> <td>イオン状シリカ</td> </tr> <tr> <td>マグネシウム硬度</td> <td>コロイド状シリカ</td> </tr> <tr> <td>アンモニウムイオン</td> <td>酸消費量pH4.8</td> </tr> <tr> <td>残留塩素</td> <td>ノルマルヘキサン</td> </tr> <tr> <td>硝酸イオン</td> <td>COD</td> </tr> <tr> <td>亜硝酸イオン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>硫酸イオン</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	プラント設備計画のために必要な水質項目（18項目）		電気伝導度	炭酸イオン	過マンガン酸カリウム消費量	炭酸水素イオン	カリウムイオン	遊離炭酸	カルシウム硬度	イオン状シリカ	マグネシウム硬度	コロイド状シリカ	アンモニウムイオン	酸消費量pH4.8	残留塩素	ノルマルヘキサン	硝酸イオン	COD	亜硝酸イオン		硫酸イオン		<p>水質分析結果はありません。水質分析を希望する事業者は、採取場所や日時等を調整をさせていただきますので、組合（担当者）へご連絡ください。</p>
プラント設備計画のために必要な水質項目（18項目）																													
電気伝導度	炭酸イオン																												
過マンガン酸カリウム消費量	炭酸水素イオン																												
カリウムイオン	遊離炭酸																												
カルシウム硬度	イオン状シリカ																												
マグネシウム硬度	コロイド状シリカ																												
アンモニウムイオン	酸消費量pH4.8																												
残留塩素	ノルマルヘキサン																												
硝酸イオン	COD																												
亜硝酸イオン																													
硫酸イオン																													
2	9	第1編 第3章	5	3.5.2	用水	<p>「上水については、事業予定地の前面道路に敷設されている給水本管（φ150mm）から引き込むものとする。」と記載がありますが、上水使用量に制限はありますでしょうか。</p>	<p>和光市水道施設課に確認したところ、1日当たりの水道使用量が多い場合や、給水本管の水圧に急激な変化が生じるような使用をする場合は、周辺の水道利用者への影響が懸念されるため、使用量に制限をかける場合があるとのことでした。詳細については、最大使用量や給水方法等を参考にして、受注後の協議により決定するものとします。</p>																						

No	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問内容	回答
3	11	第1編 第3章	5	3.6.2	搬出入車両 (2) 搬出車両	<p>表 1-4 搬出車両の仕様（エネルギー回収型廃棄物処理施設）ではジェットパッカー車（25t 車）との記載がござい ますが、集じん灰貯留槽の容量算出のため、ジェットパッカー 車1台分の想定積込量（m^3）をご教示願います。 また、既設での最大積込量（m^3）のデータがあればご教示願 います。</p>	<p>ジェットパッカー車1台分の想定積込量（m^3） は、標準的な車両の諸元から15m^3としてくださ い。 なお、構成市の現状としては、現在25tジェッ トパッカー車による搬出を行っていますが、最 大8t程度積込みが可能で、過去5年間の最大積 載量は6.6tとなっており、状況次第では全量搬 出に満たない場合も想定されます。</p>
4	11	第1編 第3章	6	3.6.2	搬出入車両 (3) 搬出車両	<p>表 1-5 搬出車両の仕様（マテリアルリサイクル推進施設） において、搬出のための貯留設備が必要となりますが、これ らは事業者側の手配範囲となるのでしょうか。 また、事業者の手配範囲の場合、一時貯留用のドラム缶やコ ンテナボックス、フレコンバッグは返却されるのでしよ うか。 ・ドラム缶（一時貯留用）：乾電池、蛍光管、水銀含有廃棄 物 ・コンテナボックス：弱電有価物、携帯電話、廃家電 ・フレコンバッグ：小型家電</p>	<p>搬出のための貯留設備の手配については、お見 込みのとおりです。 なお、現状では各貯留用設備の返却有無につい ては、以下の仕様で搬出を考えていますが、今 後、資源化の方法や現場での作業性を考慮し仕 様を変更する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラム缶（一時貯留用）： <ul style="list-style-type: none"> 乾電池 返却無し 蛍光管 返却無し 水銀含有廃棄物 返却無し ・コンテナボックス等： <ul style="list-style-type: none"> 弱電有価物 返却有（搬出時） 携帯電話 返却有（搬出時） 廃家電 返却有（搬出時） ・フレコンバッグ： <ul style="list-style-type: none"> 小型家電 返却無し

3 落札者決定基準に対する質問への回答

質問はありませんでした。

4 様式集に関する質問への回答

質問はありませんでした。

5 基本協定書（案）に対する質問への回答

質問はありませんでした。

6 基本契約書（案）に関する質問への回答

質問はありませんでした。

7 建設工事請負契約書（案）に関する質問への回答

質問はありませんでした。

8 運營業務委託契約書（案）に関する質問への回答

質問はありませんでした。